



新しい小平第十一小学校等複合施設について

小平第十一小学校は、1967年に建てられて、建物がだんだん古くなってきました。このため、学校を建てかえることにして、新しい学校に関する基本計画(=基本的な考え方)を、令和3年の秋ごろまでに作ります。

学校の建てかえでは、学校の近くにある公共施設を小学校に複合化(=組合せて、より良い施設にすること)して、勉強や活動できる機会が広がるようにします。また、地域で活動する人たちが、たくさん交流して、つながりを強めて、地域が元気になるための活動の拠点(=重ような場所)となる新しい小学校を目指しています。

新しい小学校等複合施設は、令和10年度以降から使えるようになる予定です。
※予定はかわる場合があります。

新しい小平第十一小学校はどんな学校？

新しい小平第十一小学校には、(1)~(3)の公共施設を複合化します。

- (1) 花小金井北公民館
- (2) 花小金井北地域センター
- (3) 十一小学童クラブ

「(仮しょう)十一小地区交流センター」という。



仮しょうとは、まだ本当の名前が決まっていないことだよ。

全体のコンセプト

~子どもたちが快てきに学び、また多世代(=小さな子どもからお年よりまで)が
つながり高め合う地域の拠点となる学校づくりをめざして~

小平第十一小学校

①多様な学習活動に柔なんに対応できる学習環境

いろいろな授業や活動ができるようなつくりの建物にしていきます。

②安全・安心で快てきな学校空間

様々な経験をとおして、学ぶことを楽しめ、わくわくできる学校を目指します。
落ち着いて、のびのびと過ごせる居心地の良い場所にしていきます。

③地域を愛し、地域に愛される開かれた学校

地域の人たちとのつながりを深めて、お互いに支え合える学校を目指します。

(仮しょう)十一小地区交流センター

①新たな活動を生み出す地域コミュニティの拠点

多世代交流、防犯・防災、様々な地域をつなぐりによる活動など、新たな活動が生まれ、広がっていくような拠点づくりを行います。

②様々な人々が活動しやすい施設

障がいがある人も、高れい者も、小さな子どもたちもみんなが利用しやすい施設にします。

③人々が心に秘める「地域のために」という想いを大切に、地域 責けん(=地域の役に立つようにすること)などに役立つ施設

地域を愛し、自分にできることを考え、自分らしく活やくできる場所にしていきます。

複合化による相互利用のイメージ



よりよい学校活動ができるように、また、子どもたちと地域の人たちが交流できるように、お互いの施設を利用することを考えます。
学校は子どもや先生が優先、交流センターは地域の人優先に使いますが、空いている時間はお互いに利用できることを考えます。

